

社会人に地域への思いなどを聞く  
学生たち



## 大学生の間に やるべきことは

学生と社会人  
交流イベント

八戸学院地域連携研究センターは8日、八戸市の「はっち」で、学生と社会人による交流イベントを開催した。学生たちは社会人から地域への思いや今後

の展望などを学び、自分たちが暮らす地元へ思いをはせた。

同センターが昨年度から実施する「学生定住促進に向けたはちのへエリア体験事業」の一環。八戸学院大と八戸工業大の学生計17人が参加し、社会人側は飲食店経営者やNPO法人職員ら各方面で活躍する4人が集まった。

4グループに分かれた学生たちは、インタビュー形式で社会人と交流し、「学生の間でやっておくべきことは」「仕事をすすめる上で大事にしていることは」などと質問。社会人たちは「失敗も大きな経験の一つ」「自分の思いと意見をきちんと相手に伝えることも大事」とメッセージを送った。

八戸工業大2年の中村縁夢さん(19)は「自分が経験したことのない世界に飛び込むことの重要性を知ることができた」と充実した表情を見せた。

(小嶋嘉文)